

## 現実を受け止め前向きな生活を 学校長 津田 敏行

保護者の皆様には、日ごろから本校の教育活動にご理解、ご協力をありがとうございます。また、3月から年度をまたがり臨時休業中のご家庭でのご支援をありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の関係で、学校生活も新たな生活様式のもと、新たな日常をつくりあげているところです。今後も文部科学省のガイドラインに基づき、神奈川県、厚木市から示された内容を受けて学校運営をしていきます。

感染拡大防止の観点から6月1日より午前中、隔日の分散登校をしながら少しずつ学校生活を送っているところで、遅れている授業を補うためにも教科授業を中心にカリキュラムを組んでいます。

しかし、政府や専門家からの話でも第二波や冬期の感染の懸念は十分にあるとのことで、今までと同じ教育活動は長期に渡り望めない状況になることも考えられます。分散登校から通常の全員登校へと移行するにあたり、更に感染拡大防止に注意を払い、次のステップへと進んでいきます。その際に本来行うべきはずの活動や取組をどこまでできるかという課題があります。学校は学校教育目標の達成に向けて教科学習を軸に生徒会活動や学級での係活動、行事への取組、体験的活動等を通して協力性を習得し、達成感を味わうなど、よりよい生活を身につける重要な役割があります。そして教育課程外ではありますが生徒の健全育成に大切な部活動もあります。

現在、今後の状況を見据えて、改めて教育計画を組み直しているところであります。今年度も既に3ヶ月が終わるところで予定していたことが何もできていないことからその一つ一つの教育活動を見直さなくてはならない状況下にあります。今まで行ってきた活動ができなくなってしまうこともあるかと思いますがご理解いただければと思います。新たな計画ができ次第、お知らせをいたします。

この現実を受け止めなくてはならず、同時にこの現実に向き合っていかなければならず、そして、この現実即した新たな日常という学校生活をよりよくしていく思いや意識をもって、前向きな生活習慣が構築できるようにしていきたいと考えます。

## 登校を再開した学校の様子



登校した生徒の体温確認を徹底しています。家庭で計測できなかった場合は昇降口で検温してから教室に向かいます。また、校舎に入った所で手の消毒をしています。休み時間の手洗いうがいも励行しています。



担任は教室で、登校した生徒から健康観察票を受け取り、確認しています。クラスの半分ずつの登校なので、座席は1つおきで、前後左右が空席になっています。生徒一人一人の様子がよく見えます。



基本的に教員は全員マスクとフェイスシールドを着用して授業を行っています。暑い日には換気をしながらエアコンもつけています。下校の際には密集しないように、距離をとって並ぶように指導しています。



下校したあとに、職員で校舎の消毒作業と清掃を行っています。机と椅子、ドアや蛇口等を毎日消毒しています。蛇口等は午前中にも養護教諭と用務員が消毒して回っています。

